

JR貨物労組青年部

鷺別機関区及び室蘭総鉄運転課の存続を強く求める

本社要請行動を行う!!

JR貨物労組青年部は3月12日、『鷺別機関区及び室蘭総鉄運転課の存続を強く求める』本社要請行動を行いました。青年部としてこの間、両基地の廃止絶対反対、基地存続にこだわって闘ってきました。

私達の闘いの結果、DF200の検修基地について

会社は『鷺別、五稜郭の分散配置』を一度決めるも

再び基地廃止の考えを明らかにする(怒)!!

一度決めた事を簡単に覆す会社を絶対許さない!!

JR貨物労組青年部は両基地の存続に向け全組合員とその家族と組織全体での闘いを展開しました。両基地の存続を求める青年部署名は、17,613筆が集まるなど、闘いは組織内外にまで広がり闘いの結果、2013年夏季手当交渉時に、労使間において、『鷺別機関区のDF200形式の電気機関車は分散配置とする』事を確認しました。しかし会社は、鷺別機関区の基地機能の存続を一度決めたにも関わらず、会社は再び基地廃止の考えを明らかにしました。



要請行動において会社側からは、「現在、本社本間で議論しているので明言できない。ただ、どの選択が一番良いのか考えながら議論していきたい」と全く不明確な考えが出されました。会社の考えに対し青年部は「会社は一度分散配置を決めたにも関わらず、再び廃止の考えを明らかにした事を絶対許すことはできない。両基地は北海道の物流を守り、JR貨物の社会的使命を発揮するために絶対必要な基地である。JR

貨物会社は国鉄から貨物鉄道事業のみを継承された訳じゃなく、公共性や国民の生活を守る事も併せて継承されている。会社経営陣はこの事を今一度捉え返し、厳守しなければならない。青年部は両基地の廃止を絶対許さない」と強く青年部員の声を突き付け、要請行動を終了しました。全青年部員の皆さん、両基地の存続に向け最後まで闘おう!!